

「道路講演会」を開催しました！

「これからの地域づくりと道路」～地域振興、PPP(官民連携)について～

道路建設課

広大な県土を有する本県においては、「時間・距離の壁」が地域間連携や、災害時における避難救急活動等の面で大きな課題となっています。

そのような中、震災からの早期復興を実現するため、沿岸地域を南北に貫く縦貫軸や内陸と沿岸地域を結ぶ横断軸として機能する高規格道路ネットワークの未整備箇所の多くを「復興道路¹」と位置付け、整備を進めているところです。

このうち、県都盛岡市と沿岸地域の中心都市である宮古市を結ぶ「宮古盛岡横断道路」においても、急カーブ、急勾配が連続する区界～築川間などの交通の難所が存在しており、地域間の交流連携や救急医療搬送に支障を来しておりましたが、区界～築川間を含めた約48kmが新たに事業化され、平成24年4月21日には区界～築川間において中心杭設置式が開催され、いよいよ本格的に事業が動き出しました。

このことから、今後の早期整備に対する期待を込め、金井道夫氏(前 国土交通省道路局長)をお招きし、「これからの地域づくりと道路」と題し、海外などにおけるPPP²の事例や、道路整備が地域振興に与える効果などについてご講演を頂きました。

【道路講演会の概要】

基調講演

「これからの地域づくりと道路」
～地域振興、PPP(官民連携)について～

講師

金井 道夫 氏

講演内容(抜粋)

- ・ 海外では様々な形でPPPが進められているが一長一短であり、今後も議論が必要。
- ・ 三陸沿岸道路では、マンパワー不足を解消する手段としてPPPを導入(民間の知恵を導入)
- ・ 道路が地域振興に果たす効果は大きく、交通量だけで必要性が判断されるものではない。



会場は満席でした！

<講師プロフィール>

金井 道夫 氏
 昭和49年 旧建設省入省
 平成23年 国土交通省道路局長等の要職を歴任された後、退官
 現 在 愛知工業大学客員教授、筑波大学客員教授、鉄鋼スラグ協会 上席研究員

1 「復興道路」の詳細については、下記の東北地方整備局のHPをご覧ください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/road/fukkou/index.html>

2 PPP : Public Private Partnership 公共サービスに民間の資金、ノウハウを導入する仕組み。欧米諸国での導入が進んでいる。